

荏原第一管内の平成30年2月のお知らせ

平塚児童センター

・ファミリーランポン

3日(土) 1部 10時~10時45分
2部 11時~11時45分

対象/幼児親子

参加費/無料

内容/ストレッチ体操のあと、親子で一緒にランポンを楽しみます。安全に跳ぶための基本の跳び方や、簡単な技も行います。

注意/スカートなどひらひらするものを着ての参加はできません。

靴下を必ず持参してください。

・パパと節分豆まき会

3日(土) 13時~14時

対象/幼児親子~小学生まで

参加費/無料

内容/1年に1回平塚児童センターに現れる大きな鬼をみんなでやっつけよう!

・ベビーマッサージ

19日(月) 11時~正午

対象/0歳児親子(ハイハイ前までの赤ちゃん)

定員/20組(2月1日より申込み受付開始、定員になり次第締切となります)

参加費/無料

内容/ベビーマッサージ講座

会場・詳細についての問合せ/TEL3786-2228

後地児童センター

・ファミリーパーク「親子でアスレチック」

3日(土) 10時~11時45分

対象/乳幼児親子

参加費/無料

内容/体を使ういろいろな遊具を出して、家族や家族同士でいっぱい動いて遊ぼう!

・ひだまりタイム

16日(金) 13時半~14時半

対象/幼児親子

定員/15組

参加費/無料

内容/ふれあい遊びを楽しんだ後は、ゆったりと子育てのあれこれを話しましょう!

・あそびマスター「卓球うしろじかつ」

21日(水) 15時~16時

対象/小学生以上

参加費/無料

内容/「ふれあい卓球」勝利をめざして、みんなで競い合っとうしろじかつをゲットしよう!

・初めてのオーケストラコンサート

23日(金) 10時半~11時半

対象/乳幼児親子

参加費/無料

内容/たった4人のオーケストラの生演奏をシルバーセンターの皆さんと楽しんで、本物の音にふれあいましょう。

・子育て講座「ベビーマッサージ」

26日(月) 10時半~11時半

対象/おおむね3~7か月の乳児

参加費/無料

内容/ママと赤ちゃんのゆったりとしたリラックスタイムをつくりましょう!

会場・詳細についての問合せ/TEL3785-5033

中原児童センター

・館長杯卓球大会

14日(水) 15時半~17時

対象/小学生以上

参加費/無料

内容/今月は館長杯卓球大会を実施!3月のふれあいリーグに向けてみんなで挑戦しよう!自分のラケットを持っている人は持ってきてね!

※事前の申し込みが必要です。

・カロム大会

28日(水) 15時半~17時

対象/小学生以上、定員16名

参加費/無料

内容/毎月盛り上がりを見せる中原カロム大会!今月のチャンピオンは誰だ?初心者大歓迎!

※事前の申し込みが必要です。

会場・詳細についての問合せ/TEL3492-6119

荏原区民センター

・おはなし会 フーさん

24日(土) 11時~11時半

対象/幼児親子・小学生低学年

場所/荏原区民センター 和室

参加費/無料

内容/パネルシアター、絵本読み聞かせ、紙芝居ほか

会場・詳細についての問合せ/TEL3788-7939

詳細は、各所轄センターまでお問い合わせください!



俳句・川柳・短歌

・なほ遠く 行けと枯野の 荏原四丁目 道標 <small>しんぼく</small> 齊藤好江	・カーナビに 地図の楽しみ 荏原三丁目 うばわれる 夏草	・老楽の 八十路寿ぐ 荏原二丁目 福笑ひ 金子宏之	・愛犬の しまつはします 荏原二丁目 おやじのは 鈴木靖生	・寒北斗 きりりと繻子の 荏原一丁目 帯結ぶ 吉田久美子	・竜田姫 ふわりふわりと 荏原一丁目 歩いてくる 吉田健治	・日曜日 娘と選ぶ 小山二丁目西部 夏野菜 内田乙女	・福耳も ピアスも隠す 小山二丁目 冬帽子 翠女	・耳かざり 心もゆれて 小山台一丁目東 引き戸ひく 萌扇
--	--	---------------------------------------	---	--	---	--	--------------------------------------	--

荏原消防署小山出張所

家具類の転倒・落下・移動防止対策

【家具転対策について】

平成7年1月17日に阪神・淡路大震災が発生しました。この地震では、多くの家具類の転倒、落下、移動などにより、家具等の下敷きになるなどの怪我や、避難障害などの被害が挙げられました。このような被害を事前に防ぐために家具類の転倒防止対策が重要視されるようになりました。

「家具転対策」とは、地震の揺れでけが等をしないために、家具や家電などを固定したり、落下防止措置をしたりする「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の略称です。

「家具転対策」をしていないと、地震の時に家具類が転倒して、けがや火災、避難障害など様々な危険につながる可能性が高くなります。

【家具類の転倒・落下・移動による被害】

①「けが」
平成28年熊本地震をはじめ、近年発生した地震でけがをした原因を調べると、約30~50%の人が、家具の転倒・落下・移動によるものでした。転倒した家具等に直接あたったり、下敷きになったり、つまずいて転んだりしてけがは起きてしまいます。

②「火災」
家具等がストーブなどに転倒・落下することで火災が発生するなど二次的な被害も引き起こす可能性があります。

③「避難障害」
出入り口周辺に転倒・移動しやすい家具類を置くと、転倒・移動した家具類が避難経路を塞ぎ、避難の妨げになることがあります。

【どんな家具転対策をしたらいいの?】

金具などを使用し、家具と壁をねじ留めする方法が一番効果的ですが、ねじ留めが不要な対策器具を組み合わせる方法でも効果が得られます。対策を行う家具の形状や重さに合った器具を選び、正しく設置することが重要です。また、出入り口周辺や寝る場所には、なるべく家具を置かないようにするなどの置き方の工夫も大切です。ご家族の負傷、火災の発生、避難障害を防ぎ、ご自分の身を守るためにも「家具転対策」を実施しましょう。

詳細についての問合せ/TEL3781-0119

